

安曇川地域住民自治協議会だより第12号

—絆をつなぎ 交流と連携で 支え合うまちづくり—

令和7年5月23日発行

令和7年度 安曇川地域住民自治協議会 定期総会を開催しました

四月二十六日(土)、当協議会の令和七年度定期総会を開催しました。

令和六年度の事業報告や、今年度の事業計画、予算等について審議し、全ての議案が可決承認されました。

今年度も安曇川地域のみなさんが交流を深め、住み続けたいと思ってもらえるような活動を会員一同で取り組んで参ります。



安曇川地域住民自治協議会

会長 内村 泰雄

平素は、安曇川地域住民自治協議会の活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当協議会の活動も四年目を迎えます。協議会には三つの部会があり、各計画に基づき活動を進めています。それぞれの活動には多くの市民の方に参加していただいています。昨年度には、県外からの視察研修の受け入れなど、当協議会の活動に注目

していただき、少しずつではありますが着実に前進しているように思います。

また、昨年の区長訪問では、高齢化や人口減少に伴い、自治会運営が儘ならない、特に集落内河川清掃などが、出役者の減少により負担が一部に偏るといった意見も出されています。このような状況を改善する一助として「自治会・区の合併」を将来的に進めないと自治会の存続も危ぶまれるといった貴重なご意見もいただきました。このような課題を協議会として解決することは容易ではありませんが、市のまちづくり担当と情報を共有し、またどのような取組みができるのかについて検討していきたいと考えています。

最後に、市民の方々の中でまちづくりや防災などに関心のある方、是非とも私たちの仲間になっていただき、地域を一緒に活性化させる取り組みにご参加をよろしくお願いいたします。



未来部会 部長 伊香 悦子

未来部会は今年度も、地域の未来を担う子どもたちや若者に寄り添った、魅力ある事業を実施していきます。

今年度は、小学生を対象とした、郷土料理や発酵食品を使った料理教室の開催、中学生学習支援、安曇川中学校での「トークフォーカダス」の開催協力を新たに計画しています。また

継続事業として、クリーンアップ運動、田植え稲刈り体験、地域のお年寄りに向けた手のひらレターの作成等を実施する予定です。

昨年度同様、未来部会は様々な団体のご協力を得て、若者たちと共に活動してまいります。

田植え体験

技能講習会

つながり広場

相互支え合い部会

部長 清水 喜久男

昨年度は、地域のみなさんのご協力のもと広瀬、本庄地域で「地域食堂」を開き、ドングリや小枝等を使っておもちゃ作りをする「つながり広場」も開催しました。

区・自治会長さんを対象とした「相談窓口」の設置や、当協議会のホームページ内で区・自治会のお知らせや活動報告をしていただける掲示板も用意しています。

今年度も引き続き「地域で支え合う仕組みづくり」を合言葉に活動していきます。みなさんも是非ご参加ください。